

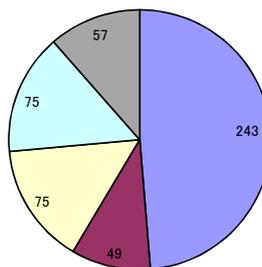
景気動向

業況は横ばい。
先行きは製造業でわずかに悪化、非製造業で横ばいの見通し。

- 調査時点 平成27年1月調査(26年12月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 499社(回答率:62.4%)
(製造業243社、建設業49社、卸売業75社、
小売業75社、サービス業57社)
- 調査時期 四半期毎(3、6、9、12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	243
建設業	49
卸売業	75
小売業	75
サービス業	57



- 製造業
- 建設業
- 卸売業
- 小売業
- サービス業

<全産業>

全産業の業況DI(▲20.1)は、前回(▲16.5)に比べ-3.6ポイントと悪化を示した。
業種別では製造業の業況DI(▲14.4)は、前回(▲9.0)に比べ-5.4ポイントと悪化を示した。
建設業の業況DI(4.1)は、前回(0.0)に比べ4.1ポイントと改善を示した。
卸売業の業況DI(▲36.0)は前回(▲25.0)に比べ-11.0ポイントと悪化を示した。
小売業の業況DI(▲33.3)は前回(▲29.9)に比べ-3.4ポイントと悪化を示した。
サービス業の業況DI(▲26.3)は前回(▲29.7)に比べ3.4ポイントと改善を示した。

【3か月先見通し】

〈業況〉今回＝平成26年12月末

全産業では今回(▲20.1)から3か月先(▲21.9)とほぼ横ばいを見通している。
製造業では今回(▲14.4)から3か月先(▲21.0)と-6.6ポイントの悪化を見通している。
建設業では今回(4.1)から3か月先(▲10.2)と-14.3ポイントの悪化を見通している。
卸売業では今回(▲36.0)から3か月先(▲26.7)と9.3ポイントの改善を見通している。
小売業では今回(▲33.3)から3か月先(▲32.0)と1.3ポイントの改善を見通している。
サービス業では今回(▲26.3)から3か月先(▲15.8)と10.5ポイントの改善を見通している。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
12月末時点	-20.1	-17.1	-27.7	-5.2
9月末時点	-16.5	-12.7	-27.7	-8.2
前回比	-3.6	-4.4	0.0	3.0

■全産業の業況

業況	12月末時点	9月末時点
良化	15.6	17.4
悪化	35.7	33.9
DI値	-20.1	-16.5
前回比	-3.6	-3.7

■12月末時点からみた

全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	9.6
悪化	31.5
DI値	-21.9

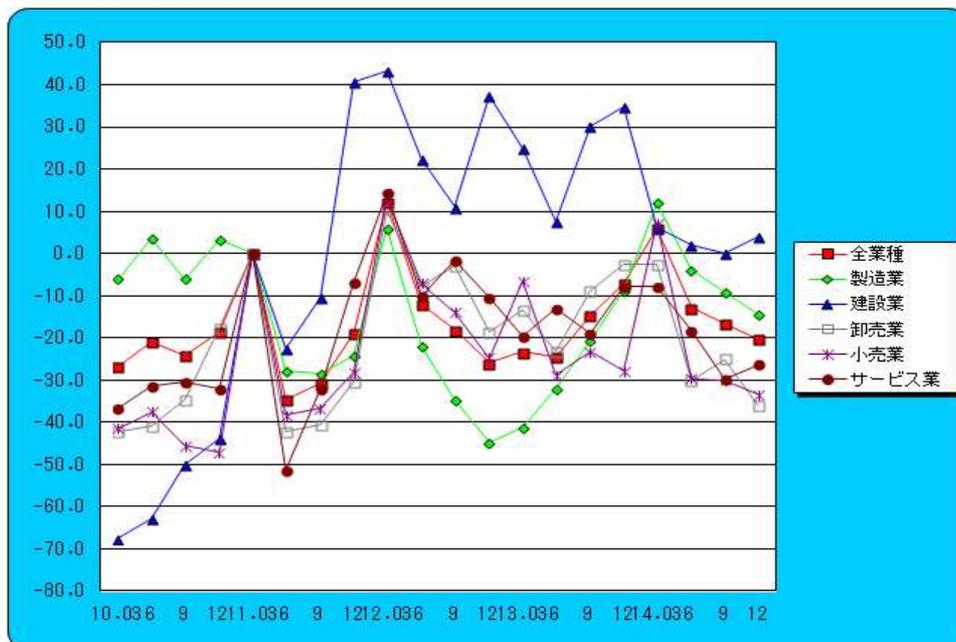
■製造業の業況

業況	12月末時点	9月末時点
良化	19.8	22.2
悪化	34.2	31.2
DI値	-14.4	-9.0
前回比	-5.4	-5.0

■非製造業の業況

業況	12月末時点	9月末時点
良化	11.7	13.1
悪化	37.1	36.3
DI値	-25.4	-23.2
前回比	-2.2	-1.8

■業種別業況DI値推移グラフ



<製造業>

業況DI値	
今回	-14.4
先行き	-21.0
前回比	-5.4

対象企業	377
回答企業	243

売上・採算・資金繰りで横ばい、業況でわずかに悪化を示した。

<業況>

- ・改善……………「木材・木製品」
- ・わずかに改善…「窯業・土石」、「電気機器」、「プラスチック」
- ・横ばい……………「酒造」、「織物」、「ニット」、「印刷」
- ・わずかに悪化…「食料品」、「金属」、「精密機器」
- ・悪化……………「縫製」、「鉄鋼・非鉄」、「一般機械」、「輸送用機器」

<採算>

- ・大幅改善……………「ニット」
- ・改善……………「酒造」、「木材・木製品」、「プラスチック」
- ・わずかに改善…「印刷」、「窯業・土石」、「電気機器」
- ・わずかに悪化…「食料品」、「縫製」、「金属」、「一般機械」、「精密機器」
- ・悪化……………「織物」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」

<資金繰り>

- ・改善……………「木材・木製品」
- ・わずかに改善…「縫製」、「印刷」、「精密機器」、「プラスチック」
- ・横ばい……………「酒造」、「ニット」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」
- ・わずかに悪化…「食料品」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」
- ・悪化……………「織物」

【3か月先見通し】

採算で横ばい、業況・売上・資金繰りでわずかに悪化を見通している。

<業況>

- ・改善……………「織物」、「ニット」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」
- ・わずかに改善…「酒造」
- ・横ばい……………「縫製」、「一般機械」
- ・わずかに悪化…「食料品」、「木材・木製品」、「印刷」、「窯業・土石」、「電気機器」、「プラスチック」
- ・悪化……………「金属」、「精密機器」

<資金繰り>

- ・わずかに改善…「輸送用機器」
- ・横ばい……………「食料品」、「織物」、「ニット」、「縫製」、「鉄鋼・非鉄」、「電気機器」、「プラスチック」
- ・わずかに悪化…「酒造」、「木材・木製品」、「印刷」、「窯業・土石」、「一般機械」、「精密機器」
- ・悪化……………「金属」

自由意見

製造業

- 原材料は円安により高騰、製造品は国内販売で値上げ出来る状況ではない。また、依然として風評被害が続いており厳しい状況である。 【食料品】
- 復興特需がなくなり、風評被害が目立つようになってきた。また、売上減から過剰人員が問題です。 【食料品】
- 風評被害が続いており、受注が回復しない。 【食料品】
- 円安による原料高と人件費の上昇が問題です。 【食料品】
- 円安による仕入単価が上昇している。 【食料品】
- 販売不振と円安による仕入単価の上昇が問題です。 【織物】
- 消費税増税の影響を受けています。 【織物】
- 消費税増税後、売れ行きが良くない。 【縫製】
- 昨年同期より大幅に受注が少ない。また、円安で輸入物は高価になり景気は悪い。 【木材・木製品】
- 円安の進行により、輸入材の価格上昇が経営を圧迫している。 【木材・木製品】
- 原発事故後、売上が減少し、依然として、その状態が続いている。 【印刷】
- 業界として、何か変化しなければ生き残れないため、IT化を進めています。 【印刷】
- 消費税が8%になったため、単価を下げなければならないケースもある。 【印刷】
- 寡少人員により、生産が追いつかない。 【窯業・土石】

○ 原材料価格の上昇に価格転嫁が追いつかず利益圧迫、発注時価格との格差が出ている。また、原発事故に伴う人件費上昇や人手不足が問題です。	【窯業・土石】
○ アルミ業界は材料の価格上昇によってどうしようもない。給料の上昇など考えられない。	【鉄鋼・非鉄】
○ 仕事の量は多いが、買値がリーマンショックの時の水準のままとなっている。	【鉄鋼・非鉄】
○ 消費税増税や円安による仕入高など諸経費が増加したままで、利益は望めない。	【金属】
○ 先行き不透明。	【一般機械】
○ 円安傾向で仕事が少しずつ戻ってきている。諸経費の値上がりになる。	【一般機械】
○ 先行き不透明。	【電気機器】
○ 新規開発品が長年にわたり、経営上負担になっている。	【電気機器】
○ 取引先の現状に差が出ている。	【精密機器】
○ 円安による仕入材料費の高騰による影響が大きい。	【プラスチック】
○ 円安により原料の高止まりが続いている。円安は、製造業にとって経費の増になる。	【プラスチック】
○ 昨年とほぼ売上は同じだが、来春から悪くなる予想です。	【プラスチック】

<建設業>

業況DI値	
今回	4.1
先行き	-10.2
前回比	4.1

対象企業	67
回答企業	49

資金繰りでわずかに改善、業況・売上で横ばい、採算でわずかに悪化を示した。

〈業況・資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「土木」
- ・横ばい・・・「建築」

〈採算〉

- ・横ばい・・・「土木」
- ・わずかに悪化・・・「建築」

【3ヵ月先見通し】

採算で横ばい、業況・売上・資金繰りでわずかに悪化を見通している。

〈業況〉

- ・わずかに悪化・・・「土木」、「建築」

〈資金繰り〉

- ・横ばい・・・「建築」
- ・悪化・・・「土木」

自由意見

建設業

○ 建設業で受注状況は良いのだが、人手不足で採算は悪化するばかり。事業の縮小を考えている。	【土木】
○ 2015年以降の仕事が不安です。	【土木】
○ 工事費、資材費等の高騰と職人不足が問題です。	【建築】
○ 受注はあるが、販売価格の低下及び、人員の減少のために思うように受注ができない。	【建築】
○ 建設業に携わっていますが、職人(鉄筋、型枠)の不足と人件費の上昇で苦戦をしています。3Kと言われる業界なので、若い人が育ちません。	【建築】

<卸売業>

業況DI値	
今回	-36.0
先行き	-26.7
前回比	-11.0

対象企業	114
回答企業	75

採算・資金繰りで横ばい、業況・売上でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・わずかに改善・・・「飲食料」
- ・横ばい・・・「機械器具」、「建築材料」
- ・わずかに悪化・・・「その他」
- ・悪化・・・「青果物」、「鮮魚」
- ・大幅悪化・・・「衣服」

〈採算〉

- ・改善・・・「機械器具」
- ・わずかに改善・・・「飲食料」、「建築材料」、「その他」
- ・わずかに悪化・・・「衣服」
- ・悪化・・・「青果物」、「鮮魚」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・「衣服」
- ・わずかに改善・・・「機械器具」
- ・横ばい・・・「飲食料」、「建築材料」、「その他」
- ・わずかに悪化・・・「青果物」、「鮮魚」

【3ヵ月先見通し】

業況・採算でわずかに改善、売上・資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善・・・「衣服」、「建築材料」
- ・わずかに改善・・・「青果物」、「鮮魚」
- ・横ばい・・・「機械器具」、「その他」
- ・わずかに悪化・・・「飲食料」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「青果物」
- ・横ばい・・・「衣服」、「鮮魚」、「建築材料」、「その他」
- ・わずかに悪化・・・「飲食料」、「機械器具」

自由意見

卸売業

- 来年の社員採用が難しい。【飲食料】
- 地方は、人口減と高齢化が進んでいる。さらに、原発事故による風評被害の影響で回復の見込みはない。【青果物】
- 消費税増税により、消費の落ち込みが激しいです。【青果物】
- 円安により仕入れが全般的に上がってきている。【建築材料】
- 更なる消費税増税が延期され、環境は良くなった。新築やリフォームは、最大のチャンスとなり活況を呈すると思う。【建築材料】
- 雪害のため売上等はあるが、一般的資材は悪い。【その他】

<小売業>

業況DI値	
今回	-33.3
先行き	-32.0
前回比	-3.4

対象企業	138
回答企業	75

業況・売上・資金繰りで横ばい、採算でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・大幅改善……「大規模店」
- ・改善……「自動車販売」、「家具・建具」、「その他」
- ・わずかに悪化……「飲食料」、「家電品」
- ・悪化……「中小スーパー」、「衣料」

〈採算〉

- ・大幅改善……「大規模店」
- ・わずかに改善……「自動車販売」
- ・横ばい……「その他」
- ・わずかに悪化……「飲食料」、「家電品」、「家具・建具」
- ・悪化……「中小スーパー」、「衣料」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善……「家電品」、「自動車販売」、「その他」
- ・横ばい……「飲食料」、「大規模店」
- ・わずかに悪化……「中小スーパー」、「衣料」、「家具・建具」

【3か月先見通し】

採算でわずかに改善、業況・売上・資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善……「中小スーパー」、「飲食料」
- ・わずかに改善……「衣料」
- ・横ばい……「家具・建具」
- ・わずかに悪化……「家電品」、「その他」
- ・悪化……「自動車販売」
- ・大幅悪化……「大規模店」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善……「衣料」、「自動車販売」、「家具・建具」
- ・横ばい……「中小スーパー」、「大規模店」
- ・わずかに悪化……「飲食料」、「家電品」、「その他」

自由意見

小売業

- 4月からの消費税増税と不景気が重なり、消費が減っている。【中小スーパー】
- 原発事故による風評被害の影響で、経済の低迷が続いている。そのような状況下での消費税の再増税は厳しい。【衣料】
- 顧客の高齢化、町内の人口減により客数が減少しています。町内商店共通の悩みです。【衣料】
- 仕入単価が上昇している。【飲食料】
- 小規模企業は、仕入も厳しい状況です。【飲食料】
- 募集をかけても人手不足の状況です。【飲食料】
- 気候の激変や原発事故による影響で、鮮魚の不足が目立つ。地方には、高い値段でしか入荷しない。【飲食料】
- 円安と人手不足が問題です。【飲食料】
- 先行きが不安です。【家電品】
- 多忙ではあるが、利益が上がらないという状況の連続である。【家電品】
- 売上は低迷し、仕入単価は上昇している。【家電品】
- 消費税増税後、買い控えが続いているが、今後10%になった場合、さらに悪化することは間違いない。【自動車販売】
- 消費税増税により、価格表示の仕方が問題になっている。【家具・建具】
- 消費税増税による駆け込み需要の反動減がどの程度になっているか分からない。【その他】

<サービス業>

業況DI値	
今回	-26.3
先行き	-15.8
前回は	3.4

対象企業	104
回答企業	57

資金繰りでわずかに改善、業況・採算で横ばい、売上でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善………「情報サービス」
- ・わずかに改善……「自動車整備」
- ・横ばい………「タクシー」、「その他」
- ・わずかに悪化……「観光旅館」、「運送」

〈採算〉

- ・改善………「運送」
- ・わずかに改善……「観光旅館」
- ・横ばい………「自動車整備」、「その他」
- ・わずかに悪化……「タクシー」
- ・大幅悪化………「情報サービス」

〈資金繰り〉

- ・大幅改善………「その他」
- ・改善………「タクシー」
- ・わずかに改善……「運送」、「自動車整備」
- ・横ばい………「情報サービス」
- ・悪化………「観光旅館」

【3ヵ月先見通し】

採算で改善、業況・売上でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善………「タクシー」
- ・わずかに改善……「観光旅館」、「運送」、「情報サービス」
- ・横ばい………「自動車整備」
- ・わずかに悪化……「その他」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善……「観光旅館」
- ・横ばい………「タクシー」、「運送」、「自動車整備」、「情報サービス」
- ・わずかに悪化……「その他」

自由意見

サービス業

- 人手不足は最大の課題 【旅館・ホテル】
- 悪化が進み、苦しい状態です。 【旅館・ホテル】
- 消費税増税後、売上の減少が予想されるものは、価格を据え置いている。 【旅館・ホテル】
- 復興特需による貸切需要は伸びているが、一般(小型)タクシーの需要は減少傾向にある。 【タクシー】
- 12月になり燃料費の仕入単価が下がってきたものの、昨年と比べると大幅な経費増となっている。 【運送】
- トラックドライバーが極端に不足している。 【運送】
- 除染等作業に使用するリース車両の増加により、受注が増加している。ただし、人数が限られているので、残業で対応している。 【自動車整備】
- IT業界は、今後、仮想化の進歩で大きな変化を迎える。 【情報サービス】
- 業界の変化が速い。 【情報サービス】
- 最近、景気が後退しているのか、洗浄事業部の受注量が減少傾向にある。2~3ヶ月のスパンで変動するので先が読みにくい。 【その他】
- 客数を増やせるかが課題である。 【その他】